

## 総合的な学習の時間「パラリンピック」と体育科「ゲーム」

パラリンピック種目体験で共生の態度育成を ②ゴールボール

メ  
ナ  
オ  
ハ

### ●こんな子どもの姿を期待できます

- ・パラリンピックや障がい者スポーツへの関心が高まった子ども
- ・障がいの有無に関わらず、相手を尊重する子ども
- ・勇気を出すことや努力すること、感謝の心の大切さを理解する子ども

### 1 ゴールボール体験

ゴールボール日本代表の小宮選手を講師として招聘し、体験活動を行いました。まず、パラリンピックに出場した小宮選手の試合の映像を見ました。そして、自分の病気のこと、自暴自棄になり落ち込んだときのこと、家族や周りの人に支えていただいたこと、たくさんの人に感謝していること、だから挑戦し続けることができること等の話を聞きました。その後、実際のボールとアイシェイドを使ってパスをしたり、ゲームをしたりしました。パラリンピックやゴールボールについて初めて知ることができ、ゲームの難しさやプレイヤーのすごさを実感したり、ルール工夫の良さについて気付いたり、ゴールボールの魅力に触れることができました。また、挑戦し続けることの大切さ、周りの人に感謝する気持ちの大切さを学ぶことができました。体育科や道徳科、総合的な学習の時間の福祉学習等と教科横断的に取り組んだり、保護者に参観していただき内容を共有したりするとより効果的でした。

### 2 体育科・球技系の授業にゴールボール

体育科・保健体育科の単元の中に、1単位の時間のゴールボールのゲームを行いました。セーブ側は目隠し状態で、投げる側は目隠ししないでゲームを行いました。勝敗を競い合う上で、ボールをセーブするために体を投げ出し倒れ込むことの難しさや、相手の取りにくいスペースを狙って転がすといったゴールボールのもつ特有の楽しさを味わうことができました。



#### ココがポイントです！

- ①ゴールボールは、体育科・保健体育科のゴール型の単元の中に位置付けることもできます。
- ②パラリンピアンとの出会いから、努力や勇気、感謝等について学ぶことができます。
- ③保護者の参加を促すと、内容を共有でき、家庭でもオリ・パラについて話す環境ができ、効果が高まります。

### 小宮選手との出会い



### ゴールボール体験



### 実践後の子どもの感想

- 試合を見ると、まるでボールが見えているように反応していてびっくりしました。
- 世界で一番になるということは、本当にすごいことなんだと思いました。
- 自分はいつもすぐに諦めてしまうけど、これからは途中で投げ出さずに頑張っていこうと思いました。

